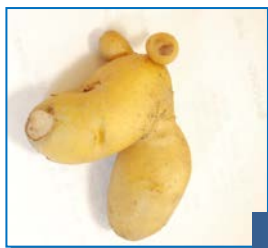


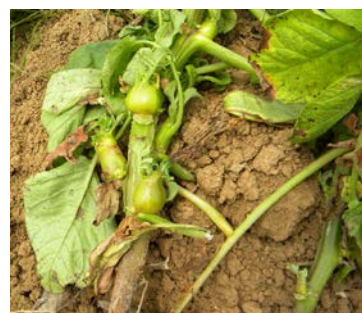


“子どもたちのうれしい育ち”

園長 高杉 洋史



ムーミンの形の
ジャガイモ!!発見



「わんぱくぼうず」という言葉を
きかなくなりました。大人も子ども
もおとなしくなったというか馬力が
落ちましたね。しかし、玄海ゆりの
樹幼稚園の子どもたちは、大丈夫で
す。自然環境を生かして力いっぱい
遊ぶ子どもを育てたいとの思いが次
第に叶ってきました。

六月上旬、各クラスでジャガイモ
掘りをしました。畑の広さは昨年の
約二倍です。子どもたちに思い切り
収穫の面白さを味わってほしいと思
い、農業の師匠、山路さんご夫妻に
お手数をおかけした甲斐あって、た
くさんのジャガイモができました。
子どもたちには、自由に好きなだけ
掘ってもらったのですが、年中さん
や年長さんのクラスは子どもたちの
行動パターンが三つのグループに分
かれました。第一グループは先生の
話をよく聞いて先生の近くで黙々と
まじめに、大きいのも小さいのも丁
寧に掘るグループ。第二グループは
ある程度ジャガイモが手に入るとア
リの巣をつついたり、壊れたアリの

巣から卵を運ぶ姿に見入ったり、蛙
の観察をするグループ。そしていよ
いよわんぱく坊主グループの登場で
す。ジャガイモは、どんどん株を抜
いていった方が能率的に収穫できま
す。また大きいイモが見つかります。
自分たちでせつせとマルチ（黒いビ
ニール）を破り茎を引き抜きます。
小さいのには目もくれず大きいのを
収穫していきます。自主性、観察力、
思考力、体力、行動力、協同性すべ
て抜群。こんな姿を目にして園長先
生は本当にうれしいです。子どもた
ちが帰った後に、ほり残しを拾って
歩く作業が発生しますが、それもま
たいいものです。

子どもたちそれぞれが個性に合っ
た育ちをして、友だちどうしで影響
し合いながらどんどん成長していま
す。大人は余裕をもった温かい目で
子どもたちの遊びと学びを応援しま
しょう。仲間あってのわが子の育ち
です。